

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (甲信越)		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・当地ではこの時期は土が凍ってしまうため、墓じまいはないが、永代供養墓の相談や依頼が多い。
		商店街（代表者）	・今、新入学生の注文を取っているが、毎年のように、思った以上に注文数があり、枚数を買ってくれるので、やや良くなっていくのではないかと。
		乗用車販売店（経営者）	・9月までの駆け込み需要の大きさや、サポカー補助金の効果も見込まれることから、2月以降の新車販売は持ち直すと予想する。
		高級レストラン（経営者）	・新年を迎え自粛機運も薄くなり、消費税増税の悪影響も落ち着くものと思われる。
		一般レストラン（経営者）	・かなり希望的な見解である。この3か月間がこれからの流れを決めていく。
		通信会社（社員）	・異動や引っ越しが増える年度末に向け、新規契約は増加傾向になる。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・キャッシュレスポイント還元効果も余り関係なく、決済の遅れる会社もあり、販売側には掛けた手間分の見返りが余りない。消費者も消費にはシビアである。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の購買意欲は、急には上がらないのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・周りでは、製造業の受注が減っているということで、良くなる要素は特にはない。
		百貨店（店長）	・消費税増税の影響は思ったよりも大きく、そこからの回復は遅い。百貨店では元々苦戦している衣料品が、暖冬の影響で、特に厚手の防寒衣料が売れず、前年割れが続いている。
		スーパー（経営者）	・老後を意識した消費行動は続いていく。
		スーパー（経営者）	・台風19号で被災した貸店舗を取り壊すことに決めた。税理士に相談したところ、保険金に38%の税金が掛かり、建物があると、課税対象が増えてしまうためである。4月決算で、4月20日までに取り壊し、滅失登記をする予定である。
		コンビニ（経営者）	・当店のようない小売業にとっては、夏の方が若干売上が良い。これから冬に向かうが、例年と売上は余り変わらない。
		コンビニ（経営者）	・特に変わらない。
		コンビニ（経営者）	・特別なイベント等もなく、例年どおりで変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・消費税増税で全ての資材、材料が値上がりしている。また、働き方改革で休みが増えて連休が多くなる等、景気が良くなる要素がない。
		家電量販店（店長）	・消費税増税、少子高齢化の影響が懸念される。
		一般レストラン（経営者）	・被災ムードの払拭が遅れている。
		スナック（経営者）	・いまだに全く悪いが、落ち込む割合が多少改善したと感じている。前年並みに戻るまでには、時間が掛かる。
		都市型ホテル（支配人）	・被災地の宿泊客に、「ふっこう割」等の支援予算を付けてもらったが、ビジネス客は対象外のため、市街地にあるホテルには影響がない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変化する要素、客の雰囲気等から回復する気配が全く感じられない。この悪い状況が、何か月続くか予測がつかず、また、回復する要素が出てくるとも感じられない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・消費税増税後、いまだに法人関係の動きが非常に鈍い。依然として増税の影響があるのではないかと。
		旅行代理店（副支店長）	・しばらくの間、旅行自粛ムードによる景気の下降は避けられない。さらに、各国の貿易摩擦もあり、企業収益に大きく影響が出ている。今後の旅行発生は減少する。
	タクシー運転手	・来年2月1日から初乗運賃がわずかながら上がるので、今まで、前年比100%に届かなかったが、恐らく前年比10%くらいは上乗せになるだろうと期待している。	
	通信会社（経営者）	・相変わらず、競合他社との顧客争奪戦が激しく、厳しい状態が続いている。	
	観光名所（職員）	・スキーヤー、スノーボーダー以外に、雪見のインバウンド需要も、今後の積雪の状況に大きく左右されるため、雪不足を懸念している。	
	その他レジャー施設「ボウリング場」（経営者）	・消費税増税で値上げをしたが、全体的には前年と変わらず推移するのではないかと。	
	設計事務所（経営者）	・年度末まで予定は入っており、更に増える状況になっている。	

	住宅販売会社（経営者）	・別荘の売却依頼が増加している。
	商店街（代表者）	・異常気象の連続で先が読めない上に、消費税増税の影響も感じられる。
	スーパー（経営者）	・暖冬予報で、前年と比べて苦戦が予想される。
	コンビニ（エリア担当）	・消費の冷え込みなのか、単価も思うように上がらない。
	コンビニ（店長）	・台風19号の被災地の近くなので、被災関係の需要が若干減ってくるが、地域がすぐに復興し、元に戻るわけではないので、今後は若干悪くなる。
	自動車備品販売店（従業員）	・2か月先の車検等の整備予約状況が、前年同時期と比べて、70%程度しか取れておらず、やや悪くなる。
	スナック（経営者）	・例年この時期は団体客がかなり動くが、今年は少し異常で、団体客が少なく小規模な忘年会の予約しか入らなかった。世の中の流れなのか、若者が酒を飲まないのか、今後もどんどん厳しくなる。
	観光型旅館（経営者）	・冬季はインバウンドの割合が増加傾向になるが、ピークとなる春節が1月のため、2～3月は苦戦が予想される。
	ゴルフ場（経営者）	・積雪によるクローズの多い隣の県に、集客営業をしている。しかし、周辺コースとの値引き合戦もあり、厳しい冬季営業が予想される。
	スナック（経営者）	・悪くなると回答したが、2～3か月先のことは全く見当がつかない。これ以上本当に悪くならないようにと願っている。
	x	
企業 動向 関連	-	-
(甲信越)	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注が多少増加している。
	食料品製造業（営業統括）	・ワイン県をうたい、知名人を起用しての行政の後押しはあるものの、今のところ十分な効果はみられていない。また、全体的に酒類の消費動向は、やや下降気味に推移している。
	食料品製造業（総務担当）	・売上目標達成に関しては苦しい状況が続くのではないかと。周囲からも、良化しているという話は聞こえてこない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・リニア新幹線の駅が地元でできる予定だが、建設業を始め、特段景気が良いという話は伝わってきていないので、変わらない。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	・東京オリンピック関連商材の試作をしており、商品展開に期待が持てる。
	一般機械器具製造業（経営者）	・受注状況、特に、海外の状況に変化が見られないため、変わらない。
	金融業（調査担当）	・引き続き、製造業では受注は減少傾向にある。非製造業では台風19号の被害は、徐々に改善しつつあるものの、観光面で落ち込んだ宿泊客が、どこまで回復できるのか不透明な状況が続く見通しである。
	金融業（経営企画担当）	・観光客はインバウンド需要もあり、予約は堅調に推移している。建設業関連は、公共工事は減少しているが、一部の土木建設業者は、今後の売上を「不変」、「やや増加」と見通している。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・新年になり景気回復を期待したいが、東京オリンピックなどは都心部に集中し、当社のような小売業に好影響はさほど期待できない。それよりも台風災害による自粛ムードが依然として続くことが予想され、消費を引下げている。
	食料品製造業（製造担当）	・輸送費や配送費などの値上げが来ている。4月には食品表示法の変更に伴うフィルムの改版などがあり、経費が掛かるため、非常に厳しくなる。
	電気機械器具製造業（経営者）	・案件が少ない。周囲の企業でも「生産量が落ちている」と聞いており、やや悪くなる。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・香港のデモの影響で、中国向けの売上が大幅に下落している。また、地金の高騰で、受注品の収益が落ち込んでいる。
	建設業（経営者）	・客が消費税10%の実感を持ち始めているようである。冬季を迎え、受注ペースも弱くなり、景気動向も分からない。
	x	・毎月の資金繰りが大変である。
雇用 関連	-	-
(甲信越)	人材派遣会社（営業担当）	・年度末に向けても、台風19号の被害の件もあり、なかなか変わらない。
	求人情報誌製作会社（経営者）	・人手不足ではあるが、景気が横ばいの中、採用を抑える企業が数多く見受けられる。

	職業安定所（職員）	・管内の経済情報で芳しいものはなく、良い材料がない。変わらないというより、非常にゆっくりと失速している感がある。
	職業安定所（職員）	・当所管内の主要産業である製造業は、受注案件が減少しているものの、3月までの分は確保しており、今年度はしのげるとコメントが多い。また、小売、卸売、サービス業は、消費税増税により、売上が減少しているという声も多いが、総じて倒産件数も少なく、しばらくは景気の後退は滑らかに続くともみている。
x	-	-